

現代天文学の最前線—「シリーズ現代の天文学」

刊行記念シンポジウム

(世界天文年 2009 公認イベント)

「いきいきとした天文学の現在にふれる」をテーマに、これから天文学を担う若い人に向けて、日本天文学会創立百周年記念事業の一つとして刊行を開始した「シリーズ現代の天文学」が完結を迎えました。それを記念して、世界天文年のフィナーレを飾る12月にシンポジウムを開催します。

本シリーズの執筆者でもある、気鋭の天文学者3人が最前線の魅力を語ります。紙上とは違った、臨場感ある「天文学の現在」をお楽しみください。参加者からの質問に答えるパネルディスカッションもあります。(会場では、特別価格での書籍販売を行います)

主催 日本天文学会

後援 世界天文年 2009 日本委員会 ・ 日本評論社

日時 2009年12月20日(日) 13:30-17:00

場所 東京大学 小柴ホール (文京区本郷7-3-1 東京大学本郷キャンパス内)
http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_00_25_j.html

対象 高校生以上

参加費 無料、定員176名(先着順)

プログラム

13:30~13:50 挨拶・趣旨説明(日本天文学会理事長、編集委員長)

13:50~14:30 吉田直紀(東京大学数物連携宇宙研究機構)
「宇宙暗黒時代を探る」——暗黒宇宙に生まれる星、銀河、ブラックホール

14:40~15:20 須藤 靖(東京大学大学院理学系研究科)
「見えない宇宙の彼方を探る」——ダークマター、ダークエネルギー

15:30~16:10 田村元秀(国立天文台)
「太陽系外惑星を探る」——第2の地球と人類の間にはいるか?

16:20~17:00 質疑応答(パネルディスカッション)
司会・進行 岡村定矩(東京大学大学院理学系研究科)

17:00 終了

問合せ先 日本評論社・佐藤(03-3987-8599)

